

ニュージーランド準備銀行は0.5%の大幅利下げを決定

- ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は市場予想を上回る0.5%の大幅利下げを決定。政策金利を1.00%へ引き下げ。
- RBNZは「追加緩和策がなければ、雇用と物価が軟化する可能性が高い」と述べ、景気下支えのための利下げを示唆。
- 大幅利下げが決定された分、声明文では追加緩和の可能性は言及されず。当面、金融政策は様子見姿勢の継続へ。
- RBNZの予想外の大幅利下げを受けて、NZドル相場は対米ドル、対円で大きく下落。豪ドル相場にも下落圧力かかる。

RBNZは市場予想上回る0.5%の利下げを決定

ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は8月7日、市場予想を上回る0.5%の大幅な利下げ(1.50%→1.00%)を決定しました(図1)。ブルームバーグ集計の予想コンセンサスでは、0.25%の小幅な利下げが見込まれていました。

RBNZは大幅利下げにより景気下支えを見込む

RBNZは金融政策委員会の声明文において、「実質GDP成長率がこの1年で鈍化しており、経済成長への逆風が増している」、「追加の金融緩和策がなければ、雇用とインフレが目標と比べて軟化する可能性が高い」と述べ、景気下支えのための利下げであることを示唆しました。

実際、2019年1-3月期のニュージーランドの実質GDP成長率は前年比+2.5%と、前年比3%超の水準にあった2018年上半期から鈍化傾向にあります(図2)。

大幅利下げ決定で当面は様子見姿勢の継続へ

また、委員会の議事録では、政策委員の間で「0.25%の利下げと追加緩和バイアスの示唆」と「0.5%の利下げ」の効果についての検討がなされ、最終的に「0.5%の大幅な金融緩和がインフレと雇用の目標達成のためには最適」との結論で合意したことが示されています。

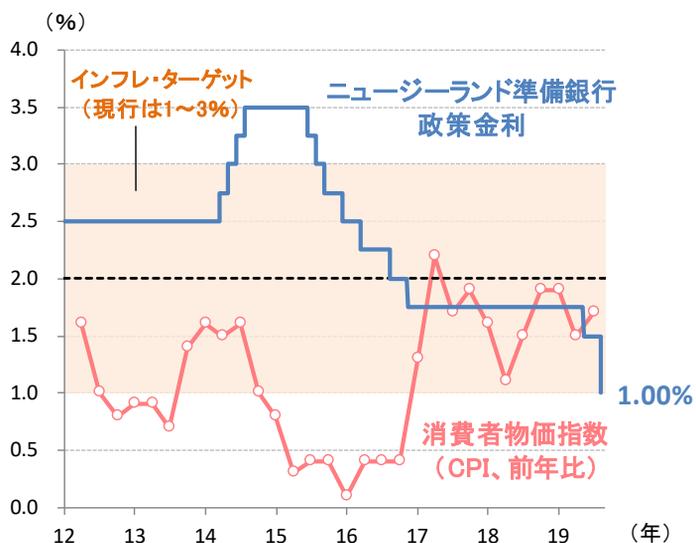
もともと、今回、大幅利下げが決定された分、声明文では今後の追加緩和の可能性について言及がなされておらず、当面の金融政策は様子見姿勢が続くとみられます。

RBNZの大幅利下げを受けてNZドル相場が下落

RBNZによる予想外の大幅利下げを受けて、8月7日為替市場ではNZドル相場が対米ドルで1NZドル=0.64米ドル前後、対円では同68円前後へ大きく下落しています。

また、NZドル安に連れて豪ドルにも下落圧力がかかっており、豪ドルの対米ドル相場は2009年以来となる1豪ドル=0.67米ドル前後へ調整しています。

図1:ニュージーランドの政策金利とインフレ率



(出所)ニュージーランド準備銀行(RBNZ)、ニュージーランド統計局
(期間)政策金利:2012年1月4日~2019年8月7日
CPI:2012年1-3月期~2019年4-6月期

図2:ニュージーランドの実質GDP成長率の推移



(出所)ニュージーランド統計局、RBNZ
(期間)2013年1-3月期~2019年1-3月期